「世界の食品用ラップフィルム市場2022年－2026年：素材別（アルミニウム製、プラスチック製）、エンドユーザー別（食品加工、外食、小売）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年11月29日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界の食品用ラップフィルム市場2022年－2026年：素材別（アルミニウム製、プラスチック製）、エンドユーザー別（食品加工、外食、小売）」調査資料の販売を2022年11月29日
に開始いたしました食品用ラップフィルム市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界の食品用ラップフィルム市場2022年－2026年：素材別（アルミニウム製、プラスチック製）、エンドユーザー別（食品加工、外食、小売）
■英文タイトル：Food Wrap Films Market （Material Type: Aluminum and Plastic; and End-user: Food Processing, Food Service, and Retail） - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2026
■発刊日：2022年11月16日
■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
食品用ラップフィルムは、食品包装のための最も一般的なパッケージソリューションの1つです。食品用の柔軟な包装フィルムは、食品の品質や風味などを維持するのに役立ちます。現在、様々な製品が外部環境から保護するために、耐性のある包装ソリューションが必要とされています。

多層食品用ラップフィルムは、製品を破損から保護します。食品業界における安全で衛生的な包装製品のニーズの高まりにより、食品用ラップフィルムの世界市場シェアは予測期間中に増加すると予想されます。

COVID-
19の大流行が食品用ラップフィルム業界に与えた影響は穏やかなものでした。パンデミックのピーク時には、食品セクターは安定した成長を目撃しました。しかし、食品用ラップフィルムの需要は、この期間中にわずかに減少しました。サプライチェーンの混乱は、世界中の食品用ラップフィルムのメーカーだけでなく、原料供給業者にも影響を与えました。
コロナウイルスの発生以来、人々はオンラインでの食品配達を選ぶようになっています。これは、食品包装用フィルムメーカーに有利な機会をもたらしました。外食産業は、安全で耐久性があり、費用対効果の高いラップフィルムで食品を配送してきました。メーカーは現在、パンデミックのピーク時に発生した損失をカバーするため、生産能力の拡張に着手しています。このため、食品用ラップフィルムの需要が増加しています。このため、食品用ラップフィルムの世界市場の成長予測は、予測期間中、ポジティブなものになると思われます。

パンデミックにもかかわらず、食品ビジネスは目覚ましい成長率を記録しています。フードサービス部門の成長は、パッケージングメーカーに有利な機会を生み出しています。食品の保護は、フードサービス市場における主要企業の最優先事項の1つです。フードサービス部門の拡大が食品用ラップ市場の成長につながっています。フードサービス部門は、効果的なパッケージングソリューションのために食品用ラップフィルムに頼っています。したがって、フードサービス部門の発展が食品用ラップ市場の拡大に拍車をかけています。

いくつかの企業は、競争力を維持するためにパッケージングに発生するコストの削減に注力しています。手頃な価格のパッケージングへのステップとして、高価な代替品よりも費用対効果の高いパッケージングソリューションが好まれています。このことは、予測期間中に食品包装用フィルムの世界需要を促進すると予想されます。費用対効果と効率性により、食品用ラップフィルムは顧客や中堅ブランドの間で高い人気を誇っています。

環境に対する懸念は、市場において重要な役割を果たしています。食品ラップフィルムの需要は、食品産業の成長によって高まっています。しかし、需要面ではアルミ製ラップフィルムが市場の大半を占めています。アルミニウムフィルムは、食品包装ソリューションに必要とされるユニークで適切な機能を備えているため、その選好度は高まっています。
アルミニウムベースのラップフィルムは、外食産業や食品加工産業における様々な食品の包装に広く使用されています。アルミニウムは軽量な素材です。そのため、食品の包装や輸送を容易にすることができます。また、耐水性に優れているため、消費者は他の素材よりもアルミニウムを好む傾向にあります。熱や紫外線の影響を受けにくいため、包装材料として推奨されています。アルミニウムフィルムは環境に優しいため、世界中で常にその需要が高まっています。

食品産業の成長、可処分所得の増加、消費者の多忙なライフスタイルなどにより、調理済み食品や加工食品の消費は世界的に増加しています。旅行者や自宅を離れて暮らす人々は、すぐに食べられるパッケージ食品を選ぶようになってきています。様々な製品を効率的に入手できるため、調理済み食品の売上が伸びています。
加工食品の人気の高まりは、予測期間中、食品用ラップフィルムメーカーに大きなビジネスチャンスをもたらすと予想されます。消費者は、食品用の他の包装代替品よりも、安全で耐久性のあるラップフィルムを選ぶ可能性が高くなります。そのため、市場関係者はリサイクル可能な原材料を使用した安全かつ効率的なラップフィルムの開発にますます注力しています。このため、予測期間中、食品包装や食品加工業界におけるラップフィルムの需要を高めると予測される。さら

に、オンラインチャネルで食品を注文する人の増加が、予測期間中のラップフィルムの販売を促進する可能性があります。

食品用ラップフィルムは、食品を長期間保存するために使用されます。シルクフィブロインフィルムは、果物や野菜、肉、乳製品などの生鮮食品用に特別に設計されています。シルクフィブロインフィルムに付着した水性懸濁液は、食品の保存期間を延ばすのに役立ちます。
メーカーは、先進技術の助けを借りて、生鮮食品用の革新的なパッケージングソリューションの開発に注力しています。シルクフィブロインフィルムは、生鮮食品包装のための画期的なパッケージングソリューションと考えられています。したがって、このフィルムの需要は、世界中で一貫して増加しています。

■レポートの詳細内容はこちら
https://www.marketresearch.co.jp/data1/food-wrap-films-market-material-type-aluminum-and-plastic-and-end-user-food-processing-food-service/

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら
https://www.marketresearch.co.jp/contacts/

■調査会社Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/Transparency-Market-Research/
株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.co.jp/
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105－0004 東京都港区新橋1－18－21
TEL：03－6161－6097 FAX：03－6869－4797
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com